

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	なごみの家 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和6年11月18日		～ 令和6年11月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和6年12月2日		～ 令和6年12月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者が個別支援計画について理解されていた点。	・日頃よりスタッフの行動記録やチェック表を参考しミーティングや会議ですり合わせをし目標の意識をしている事で、保護者に細かな説明が出来ている。	・強みの発見を多くし、出来た事を行動記録に記載し本児、保護者の喜びを増やして行きたい。
2	・事業所の支援に満足している点。	・個々に合わせた支援が出来る様、統一支援で行う様努めている。 ・マッチングが出来ていないと、直ぐに検討し家族からも協力を頂けることは直ぐにお伝えし、出来た時は家族と一緒に喜びを感じている。	・引き続き、家族とのコミュニケーションをやりながら、統一した支援で行って行く。 ・支援員のスキルの向上するために明確な取り組みにして行く。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の人数が足りていない。	・雇用希望者が居ない。 ・力が必要な際は複数人でカバーをしている。 ・男性職員が居ない事で排泄の際、異性介助となる。	・安全を優先に支援を行って行く。 ・保護者へは、異性介助の同意を取り、協力を願った。 ・自立排泄が出来る様、家族と相談し進めて行く。
2	・放課後児童クラブとの交流や障がいがない子どもとの活動がない。	・障害特性が強い方で、賑やかな場所環境が苦手とする。 ・安全面の配慮が必要。	・まずは同法人内の、こども園への交流参加を計画する。 ・環境に配慮し、静かな部屋を用意して頂く。 ・交流を重ね経験を積んで行く。
3	・緊急、防犯、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者へ周知、説明がされていない。	・重要事項での説明や玄関に策定を見れるようになっている ・詳細の提示はない。	・感染症に関しては時期になると、保護者宛にお願いの文章を配布している。 ・保護者に解りやすく策定し、重要事項説明の際に提示をする。